



愛川ふれあいの村 今月の風景

2025年1月 自然のたより

2025年は巳年。正月中、街中にもよくヘビの絵を見かけましたが、緑色で描かれていることが多いですね。ただ、日本本土で緑色のヘビはまず見かけません。どちらかというとな茶色やマダラ模様でなんだか毒々しい。里山でよく見かけるヘビにアオダイショウがいますが、どうやら鱗と皮膚の内側の色が重なると緑色っぽく見え、そのイメージで緑色が採用されたのかもしれない。緑色と一緒に多く書かれているのが白蛇。古来より縁起のいい動物とされています。ふれあいの村の繁栄を祈願しつつ一年をスタートしましょう。(林田)



早朝に出来るシモバシラ



クズの葉痕



イカルも囀る



青空に映えるロウバイ



薬用キハダの葉痕



葉裏が紅ウラベニジャゴケ



凍ったホトケノザ



ハラビロカマキリ卵塊



トラツグミ



シメようやく現る



姿を見せたアオゲラ



混群を作るエナガ



やっと現れたルリビタキ



囀るヤマガラ



群れてきたカワラヒワ

トピックス ★ツグミ科復活★

去年の9月、日本鳥学会が新しい分類を発表しました。その中で一番の注目は、ヒタキ科からツグミ科が独立したことです。この二つはこれまでも何度か一緒になったり離れたりしています。コマドリがヒタキ科になったりツグミ科になったり、トラツグミがヒタキ科になったりツグミ科になったりと何度も分類が変わっています。子どもの頃は図鑑によって違うものだから大いに混乱したことを思い出します。2012年にツグミ科を無くしてツグミという名前の付く鳥たちは全てヒタキ科に統一されました。はっきり言って違和感がありました。あれから12年、ツグミ科がまたしても独立しました。どうやら、DNA鑑定が進んだ事と世界基準に従った結果のようです。コマドリやルリビタキなど小さいツグミ科に分類されていたことのある鳥たちも全部ヒタキ科になります。ツグミ科は大型のツグミたちです。

鳥の分類ほど不安定な体系はないそうです。またいつか、科学者たちの研究が進み名前や分類が変わることがあるかも知れません。恒久的ではないことを肝に銘じておきましょう。(高梨)



ヒタキ科から



ヒタキ科になったり

ツグミ科になったり

今はヒタキ科のルリビタキ

生き物

★ヘビ★

2025年、今年の干支は「ヘビ」です。ヘビと聞くと、好きな人と苦手な人が分かれる生きものだと思います。私は後者ですが、出会うことが少ない生きものなので、大の苦手ではありません。何年か前の冬に、ヘビに詳しい方の指導の元、アオダイショウに触ったことがあります。動物に触れると大体は温かく感じますが、ヘビは冷たく感じました。ヘビは変温動物と言って、周りの気温に合わせて体温を変化させる動物です。周りの気温が下がると体温も下がり、活動するエネルギーも減るので、ヘビは冬眠します。今の時期は、村にいるヘビたちも寝ていることでしょう。

今年も素敵な一年になるように願いながら、暖かい春を待ちたいと思います。

(石川)



旬

★節供料理★

当施設では、村をお守りしてくださる山神さまに参拝をする、「山神祭」があります。そのときの供物を、なますの鯖寿司にいただきました。

供物を使って料理をし、次の季節の大漁・豊作を願い、恵みに感謝して食べる料理を、「節供(せっく)料理」といいます。おせち料理の始まりだそうです。

紅白の水引のように細く切ったにんじんと大根を、お酢で和えることから、「紅白なます」と呼ばれています。お祝い事のシンボルである紅と白の組み合わせには、「平安、平和」を願う心が込められているそうです。また、根菜を使うことで、家業の安定を願うという意味もあります。

今年も、利用者の方と、職員が平安、平和に過ごせて、愛川ふれあいの村が引き続き安定した年になりますように。(三好)



来月の見どころ
鳥たちはどうして行った
観察会があると、その場所で見ることが出来る鳥たちがいてとても楽しみだが、どこの観察会に行っても鳥が少なくなつたと聞く。
愛川ふれあいの村には、やせ地に強い数本のオオバヤシヤブシの木があり松かさのような果穂を沢山つける。果穂の中には翼を持った果実があり風に吹かれて飛んでいく。この果実を狙ってマヒワやカワラヒワが集まり忙しそうに食べる姿が見られたが、今はたまにしか見ることが出来ない。
スズメがえさ場や住処が少なくなり絶滅危惧種になりつつあることが報じられているように、他の鳥類にも様々な影響が出ていると思われる。
先日子どもたちとバードウォッチングを行った。鳥の気持ちになり、鳥のようにそっと歩くと鳥の仕草がわかるようになっていた。目の前のコサギが足を震わせ魚を捕る姿もその基本だろうと思う。何という成長ぶりだろう、子どもたちに改めて自然観察の基本的なことを教えてもらった気がした。(吉田)